

小・中学校で北方領土問題を扱う場合の分野別ねらいと内容
(平成22年度分)

	小 学 校	中 学 校
地理的分野	<p>【5学年 地理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本のへそ（中心）を探す中で我が国の領土（国境や領海）の範囲について正しく理解する。 ・日本の中心は東西南北の端の位置により大きく変わること気づく。 <p>（具体的学習内容：日本の東西万僕の端の位置・日本の中心の探し方・領土を決める重要な島・日本の領土でありながら占拠される北方領土）</p>	<p>【1学年 地理的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土問題に関する新聞記事や小学校で学んだことをもとに、地図や地球儀を活用することを通して、国境という概念を明らかにできる。 ・北方領土の地形や気候の様子を知り、元島民の話から北方領土が我が国固有の領土であることに気付く。 <p>（具体的学習内容：北方領土の位置や総面積の比較、北方領土の地形や気候の特色、元島民の話、竹島をめぐる領土問題の存在）</p>
歴史的分野	<p>【6学年 歴史】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土問題を解決しようとしてきた様々な努力や運動について知り、領土問題への理解を深める。 ・北方領土問題を平和的に解決する方法を考える。 <p>（具体的学習内容：北方領土返還要求署名収集数の推移＜統計＞・日ソ及び日口の交渉経緯＜年表＞・ビザ無し交流の様子）</p>	<p>【2学年 歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土問題が残されたことを、東西冷戦という社会的な背景から理解する。 ・日ソ外交交渉と返還運動への取り組みの様子を基に、国民の一人として返還のためにできることを考える。 <p>（具体的学習内容：戦後の日本の領土問題・東西冷戦時とその後の世界の枠組みの様子・返還運動の歴史）</p>
公民的分野	<p>【6学年 世界の中の日本】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本とロシアとの国境は、条約などで決められていることを知る。 ・北方領土は日本の領土でありながらロシアが占領している地域であることを知る。 ・北方領土問題解決に向けて、自分の考えをまとめることができる。 <p>（具体的学習内容：国際紛争・国と国との条約・国土の範囲・北方領土問題）</p>	<p>【3学年 公民分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野と歴史的分野の学習を踏まえ、現代社会が抱える諸問題には地理的、歴史的な背景があることに気づく。 ・国家間の紛争を解決する手段として、国際法があることを学び、国際協力、国際協調の精神に基づいて中立的な見地から問題を解決するためにどうしたらよいか考える。 <p>（具体的内容：主権・主権国家・領土・領空・領海・経済水域・国際法・N G O：非政府組織・国旗・国歌）</p>